



誰 もが安心して暮らせる地域社会を目指して
 「厚生労働大臣特別表彰」を受彰
 6月21日、「厚生労働大臣特別表彰」を受彰した宮島榮子さん(石神)が村長へ報告に訪れました。宮島さんは、21年間にわたり、東海村民生委員・児童委員として地域の高齢者や支援が必要な家庭等に寄り添った援助活動に尽力し、地域福祉の向上に大きく貢献したことが評価され、今回の受彰に至りました。受彰を受け宮島さんは「長く務められたのは、地域の方々や仲間の支えがあったおかげです。退任後もより良い地域づくりに力を注いでいきたいと思います」と受彰の喜びを話しました。



長 年にわたり消防力の強化・充実に貢献
 第40回危険業務従事者叙勲「瑞宝双光章」を受章
 6月15日、第40回危険業務従事者叙勲で「瑞宝双光章」を受章した小林義美さん(元ひたちなか・東海広域事務組合消防監)が村長へ報告に訪れました。小林さんは、長年にわたり消防業務に従事し、村内での原子力災害時の救急活動にも尽力されました。また、現場で培った経験や知識を基に、消防組織の運営や消防行政の推進に貢献し、今回の受章に至りました。受章を受け小林さんは「名誉な章をいただきうれしい気持ちでいっぱいです。今後は消防で培った経験を生かして有事の際のお手伝いをしていきたいです」と話しました。



サ ツマイモを通して新たな交流を
 台湾の視察団がほしいもの生産・加工現場を見学
 6月6日、台湾甘藷産業発展協会による視察団(34人)が、ほしいもの株式会社(須和間)を訪れました。同協会はサツマイモ関連事業者などから構成されており、今回の訪問は、日本のサツマイモの生産方法を学ぶことや台湾のサツマイモのPRのほか、さまざまな国や団体等と交流することを目的としたものです。団長の邱木城さんは「日本のサツマイモは台湾国内で人気があり、高級品として扱われている。国境を越えて事業者同士が交流することで、より良いサツマイモ作りにつなげたい」と話しました。



一 れからも住み心地がよいと感じてもらえるように
 二 「街の住みこち&住みたい街ランキング2023」
 大東建託株式会社が実施する「いい部屋ネット 街の住みこち&住みたい街ランキング2023」の北関東版および茨城県版で、東海村が3年連続で、住みこちランキングの第2位に選ばれました。村では、次代の担い手や地域の核となる人財の育成が喫緊の課題となっている今、住民の皆さんが地域への関心や共感を持てるシティプロモーションを展開していくとともに、若い世代とまちづくりを結び付ける取り組みを通して、引き続き「選ばれるまち」を目指していきます。